

アベノミクス効果見えず！仕入値の上昇が商売直撃

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
13年 6月 17日

全商連営業動向調査結果と 円安緊急影響調査

アベノミクスは投機をあおつて

被害は国民に

全商連調査に対して回答した新潟民商会員のアンケートを見ると、景気回復の効果は見えず、仕入れ値の上昇で被害を受けています。

中華料理店

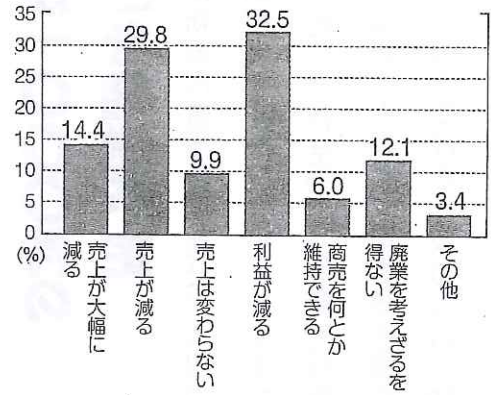
「仕入の上昇は1割」「上昇分を値段に全く転嫁できていない」とのこと。安倍政権が発足してから、売上は変わらないものの、利益は1割ほど減少しています。「今までは余り感じなかったのですが、週末も暇な日があり、売上が読めなくなっている。近くの居酒屋やスナックは大変だと口々に聞かされる」と言っています。

飼料卸売業

「このところの円安の影響を受け、仕入価格は5割ほど上昇」と頭を抱えています。経費を差し引くと利益がほとんど残らない。販売エリアを広げるなどの営業努力は行なっているが効果はいまひとつ。

大企業は、そこそこの利益があるようだが、中間業者は利益がでない。「最後には中小企業が泣きを見る構図になっている」と話しています。

消費税が10%になった場合、商売はどうなると思いますか



アベノミクスに対する意見

建設関連業者

仕入材料は、4割〜5割上昇。輸出大企業や投機家のマネーゲームに振り回され困惑しています。明確な定価がない業界のため、転嫁はし易いが、すべて転嫁するのは難しい。利益を維持するために他の部分で努力が強いられています。

飲食店

「今までが悪すぎたので、先行きは不安。2月から客数・売上がアップしている。ただし税金と返済が多いので頭が痛い」とのことです。

小売業

「水道光熱費の値上げが響いている。お客の買い控えが目立つ」と言っています。

アベノミクスなど悪循環の極み

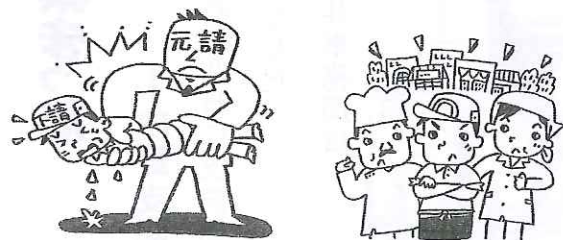
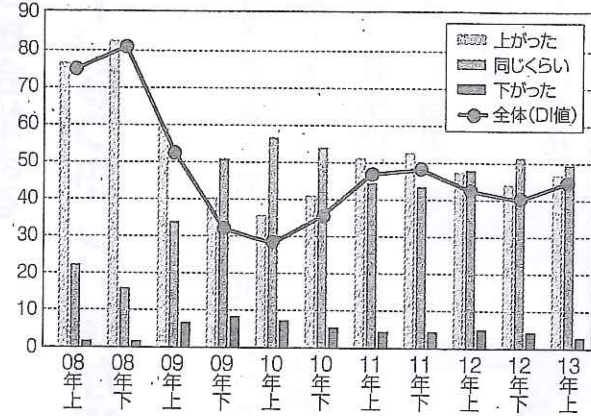
しもまち支部建築業者

5月連休前に駆け込み需要で受注したものの、その後の物価高で資材の仕入れ値は5割前後上昇、建築で多用する1枚800円のベニヤ板が大手商社の買占めで1200円に高騰。材料のクオリティを落とさざるを得ないこともありえる。消費税問題以前の事態が起こり始めている。消費者にとっても放っておけない問題です。

料飲支部ラーメン店

麺をはじめ粉物の仕入れ値が1割も上がっている。何とか価格を抑えて頑張っているが、周りの同業者の中には耐え切れずに価格を上げていのお店もあるとのこと。そのため、お客も半減でダブルパンチ。所得の上がない消費者の中にも楽しみのお昼の外食を我慢して、値引きされたコンビニ弁当にしているという話もあるようです。

原材料・商品の仕入れ値の動向 左メモリ回答割合%



市債権管理課が1000件の

「差押予告通知」を発送予定

昨年七月に設けられた新潟市債権管理課は、三四〇七件の市税や国保料の滞納を引き受け、今年三月末までに八億三五〇〇万円徴収したとされます（「日報」既報）。同課は、これを一定の「成果」とみて、引き続き徴収を強化しようとしています。引き受けた件数のうち、納付も連絡もない人が一〇〇〇人近くあり、これらの人に「差押予告通知」を六月下旬から順次発送するというのです。

新潟民商は昨年、当初からこの問題の相談を会の内外を問わず受けてきました。債権管理課と何度も交渉を重ね、一括払いの押しつけを分割払いにさせる、また、担当職員の人権無視の言動を謝罪させるなど、一定の解決も勝ち取ってきました。

「個々の実情を慮るのが先」と

共産党議員団が市に申し入れ

そして、新潟市議会で七議席を有する共産党市議団が、市議会でも小山議員（秋葉区）がこの問題を取り上げ、強権的な取り立てで市民を追い込むのはやめるべきだと質問し、同課の課長は「行き過ぎ」を謝罪し、実情をよく聴いて対応したいと答弁しています。

こうした経過を踏まえ、共産党市議団（渡辺有子団長）は、五月二三日、篠田市長に対して、滞納世帯をさらに追い込む「差押予告通知」の発送はやめ、対象世帯を訪問し、まず現状把握をすべきだと申し入れました。

市議団の「滞納者は市に連絡すると一括払いを要求されるため、これを恐れて悩んでいる」という主張に対し、応じた若林副市長は、「通知は納付を促すためで、払いたくても払えない人もいると思う。徴収猶予などの措置があることも説明しており、滞納者の相談を受けながら対応したい」と述べましたが（「日報」既報）、六月下旬の通知発送をやめるとは明言していません。

平成二十五年度健康すまいるリフォーム

支援事業の申請受付は、

平成二十五年五月三十日で受付を終了しました。

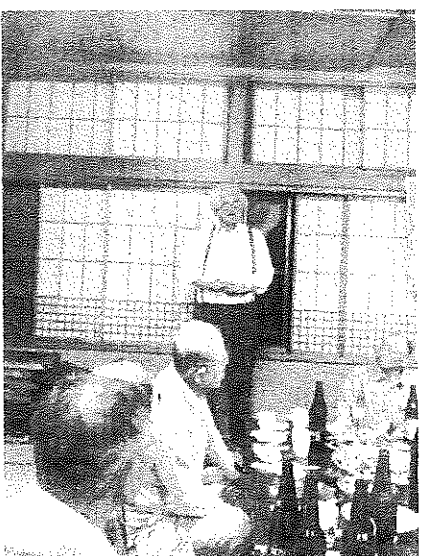
支部総会始まる

やー、なつかしい顔が集まった

―内野支部

内野支部が全支部の先頭をきって六月八日に支部総会を開催しました。総勢二十人の参加でした。

今回は、長年内野支部を担当した坂井事務局員が、七月いっぱいまで新潟民商を退職し、新しく垣内事務局員が担当になるので、その歓送迎会も兼ねて行ないました。



廃業で今はもう民商を退会された歴代支部長にも案内をし、六人が参加しました。久しぶりに顔を合わせる人もいて、昔話に花がさきました。女性も六人も参加し、なごやかな中にも元気がでた総会でした。

これで商売が続けられる！

工事代金不払い三百万円勝ち取る―新会員（寺尾支部）

Kさん（電気工事）は、昨年暮にS幼稚園新築工事の電気工事を頼まれました。元請けは県内ゼネコン大手のH社。そこから電気工事大手のW社を通じてK社にきた工事でした。とりあえず五六〇万円です工事にいれとのこと。工事に入ってみると、現場は様々な業者が同時に入る修羅場のような状況、図面も次々変わります。不安に思ったKさんがW社に言う「あとで相談する、とにかく終わらせてくれ」との返事。工事を完了したときにかかった費用は八七〇万円にもなってしまいました。

工事終了後、この金額をくださいとW社に言いました。がまったくとりあってくれませんでした。民商に相談に訪れ、W社との話し合いに入りました。一回目の話し合いでは、払う姿勢をまったく見せないW社。ところがその工事の主任技術者が、まったく現場に来たことがないことが判明しました。二回目の交渉で、このことが公になることを懸念したのか、W社は話し合いの結果、細かな部分を除いた三〇七万円を払うと表明、数日後に振り込まれました。Kさんはこれでやっと商売が続けられると喜んでいきます。

